



UTSUNOMIYA  
乗らないなんて『もったいない』

# はじめましょう、 「エコ通勤」

## SDGsの実現に向けて



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	

# はじめましょう、「エコ通勤」



- SDGsの目標11・2は、「公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、ネットワークの持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」ことが掲げられています。持続可能で利便性の高い公共交通を提供するためには、エコ通勤などを通して、より多くの方々に公共交通を利用してもらい、さらなるサービスの充実につなげていく好循環を生み出すことが重要です。
- マイカー以外での通勤をめざす「エコ通勤」に取り組むことで、貴社や従業員の皆さんにもさまざまなメリットがうまれます。地域の事業所が一斉に取り組むことで、さらに効果を高めることができます。
- LRT開業を控え、宇都宮市の公共交通は大きく変わります。この公共交通ネットワークを使って、「わが社」と「わがまち」のSDGsへの貢献に向けた「エコ通勤」をぜひご検討ください。

## コラム

### 2019年7月「SDGs未来都市」に選定

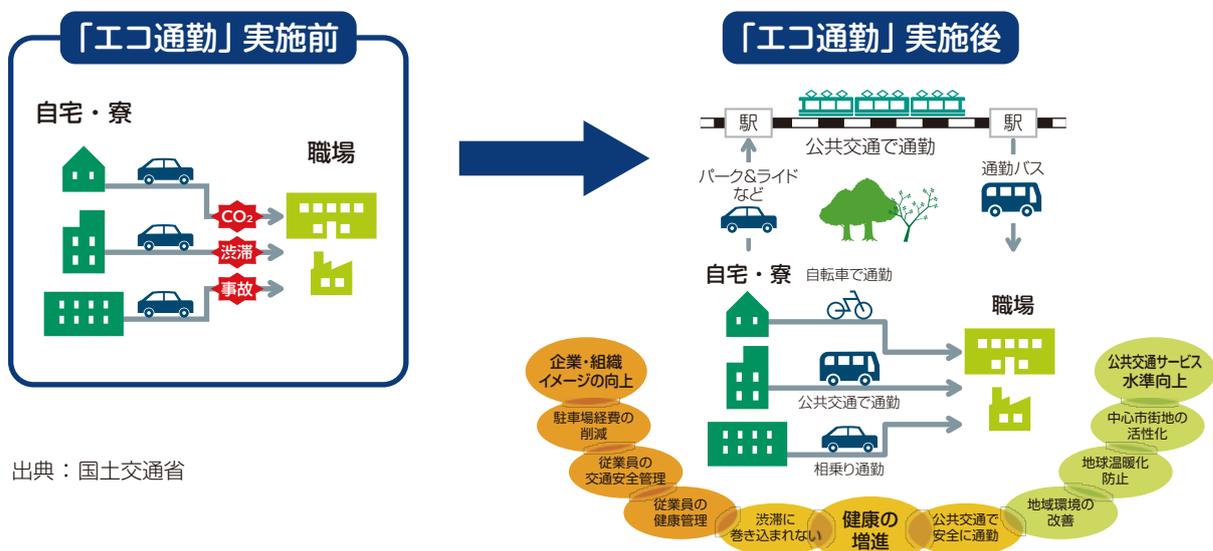
経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として宇都宮市は「SDGs未来都市」に選定されました。



栃木県初!!

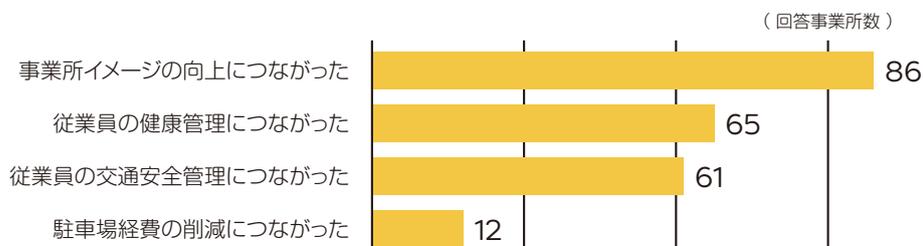
## 「エコ通勤」とは

- 従業員の通勤方法をマイカーから公共交通(電車・バス・LRT)や自転車、徒歩などの環境にやさしい方法に切りかえることについて、事業所全体で考える取組をいいます。
- コロナにより新たな生活様式として普及した時差出勤、テレワークもエコ通勤の一つの手法です。
- 「エコ通勤」には、CO<sub>2</sub>削減による温暖化防止に加え、従業員の健康増進、コスト削減、企業イメージの向上などがあり、企業側と従業員側の両方の視点でのメリットがあります。
- SDGsの実現に向けて、過度にクルマに依存した社会から、クルマと公共交通が共存した社会へ転換することがとても重要です。あなたが公共交通を利用する、その一回一回が、さらに豊かな宇都宮の実現につながっています。



# “事業所”がエコ通勤に取り組むメリット

- 「エコ通勤」は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)に定められた「従業員の通勤に関する努力義務」の達成や、渋滞緩和や環境改善など地域社会への貢献など、「事業所経営」の観点から様々なメリットがあります。



【N=163 複数回答可】

## 事業所が感じたエコ通勤実施のメリット

出典：交通エコロジー・モビリティ財団

(「エコ通勤優良事業所認証制度」の活用等に関するアンケートを基に作成)

### 事業所・組織イメージの向上

- 工業団地やオフィスが集積する地域などで、従業員のほとんどがマイカーで通勤するような状況の場合、周辺地域の交通渋滞を引き起こすことがあります。事業所が積極的に「エコ通勤」を行うことで、地域の渋滞緩和が期待され、「エコ通勤」に取り組む事業所のイメージ向上にもつながります。

### 従業員の健康・交通安全管理

- 従業員の病気や交通事故は見えないリスク。顕在化すれば円滑な事業運営に支障をきたし、不測のコストにもなります。「エコ通勤」は従業員の「健康管理」にもつながり、通勤災害防止といった「安全管理」の観点でのメリットも期待できます。

### コストの削減

- 「エコ通勤」に取り組むことで、事業所が従業員の通勤のために借り上げている場合には駐車場費用を削減することが期待できます。また、通勤バスの借り上げにかかる費用も削減することができる場合もあります。

#### コラム

### 足利銀行様の取組 ～ 職員の安全確保からSDGsの貢献へ～

弊行では、かねてから職員の通勤リスクの低減のため、職員の通勤手段は原則、公共交通利用となっております。通勤における公共交通の利用、つまりエコ通勤は、通勤リスク低減等にとどまらず、環境への配慮や、地域経済活動への支援など、SDGsにも大きく貢献する企業としての姿勢を強くPRできるものと考えております。私は、自身の健康管理・増進のため、バスの待ち時間が長い際は、1つ先の停留所まで歩くなど、公共交通と徒歩を組み合わせる通勤をしています。

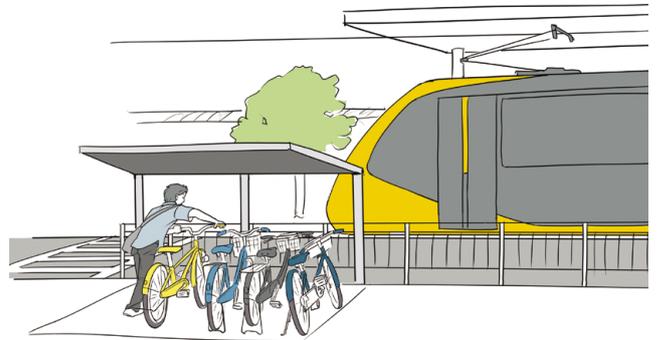


足利銀行 総合企画部  
広報室係長 田中 裕香様

## “従業員”にもやさしい「エコ通勤」

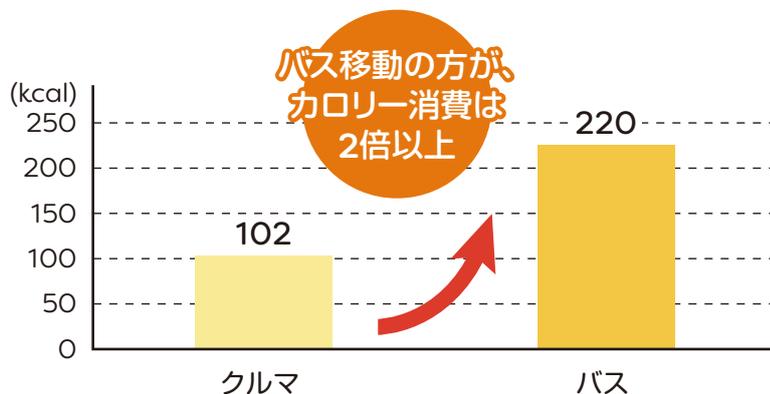
■クルマはとても便利で快適な乗り物。私たちの生活に欠かせない移動手段です。しかし、過度に頼りすぎると、環境への負荷はもちろん、肥満や事故のリスク、交通渋滞の発生、公共交通のサービス低下など困った問題にもつながります。

今までのマイカー利用を少し見直して、公共交通や自転車、徒歩などと上手に使い分けすることで、様々なメリットが期待できます。



### ヘルシーライフ

■公共交通の移動は、知らず知らずのうちに歩く機会が多くなり、健康づくりにも役立ちます。従業員のみなさんは普段、運動はしていますか。クルマで一気に目的地まで移動して、身体を動かすチャンスを逃してしまっていないですか。



15km離れた目的地へ行くときの消費カロリー

出典：厚生労働省(第6次改定日本人の栄養所要量(資料記載のデータより試算))

### コラム うつのみや健康ポイント

運動や健診の受診など、健康づくりに取り組むとポイントが貯まり、貯まったポイントでサービスや特典が受けられます。対象は18歳以上の市民です。スマートフォンアプリまたは紙の活動記録票より参加できます。

宇都宮市健康ポイントHP  
<https://utsunomiya-point.com/>



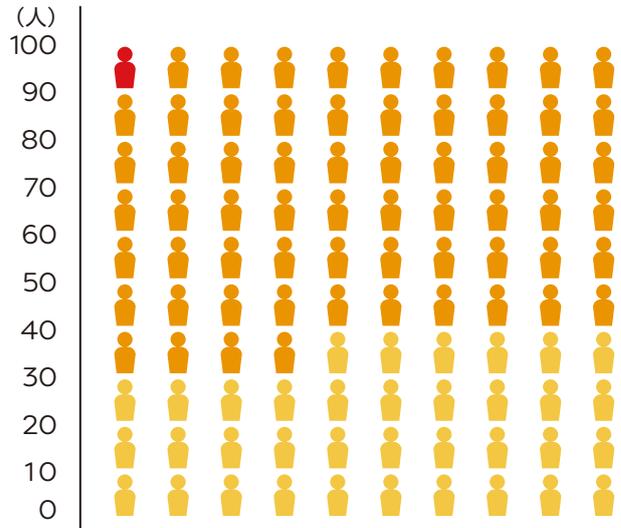
## セーフティーライフ

- クルマを50年間乗り続ける人が人身事故を起こす確率は、64%とされています。さらに、100人のドライバーのうち1人は、一生のうちに死亡事故を起こすと言われています。

「今朝は疲れが抜けてないなあ。」、そんな時には無理せず安全性の高い公共交通を使って通勤してみませんか？

公共交通なら、  
ドライバーは運転の  
プロで安心！

事故により死亡 1人  
人身事故を起こす人 64人  
事故を起こさない人 36人



100人のドライバーのうち、人身事故を起こす人の確率

出典：交通エコロジー・モビリティ財団

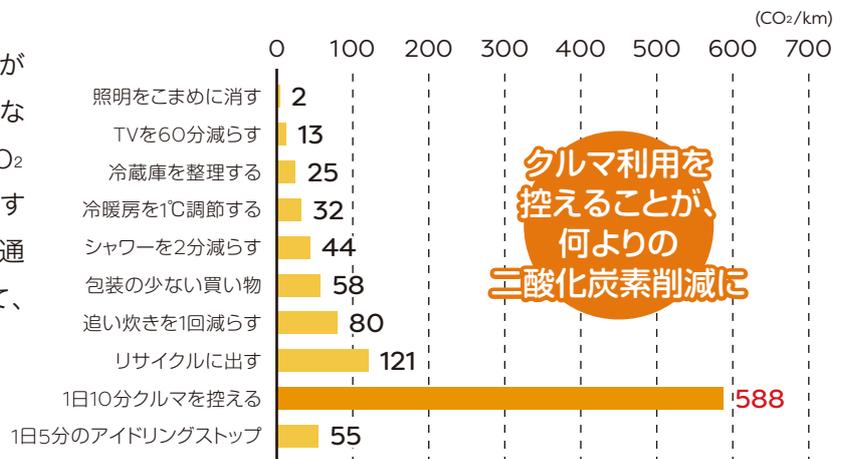
## 仕事後の生活の充実

- バスやLRTを使って通勤すれば、帰りに仲間とお酒を飲んで、コミュニケーションを図ることができたり、バスやLRTの移動中、音楽や読書、動画鑑賞といった趣味の時間に使ったり、マイカーを運転する時間とは少し違う時間を過ごすことができます。



## エコライフ

- SDGsの一環として、CO<sub>2</sub>排出の抑制が求められています。そして、従業員のみならず、みなさんがバス利用に転換するだけで、CO<sub>2</sub>の削減が図られ、SDGsの取組に参加することができます。この機会に、公共交通を利用して、SDGsへの貢献について、考えてみませんか。



クルマ利用を  
控えることが、  
何よりの  
二酸化炭素削減に

1年間あたりの二酸化炭素削減量

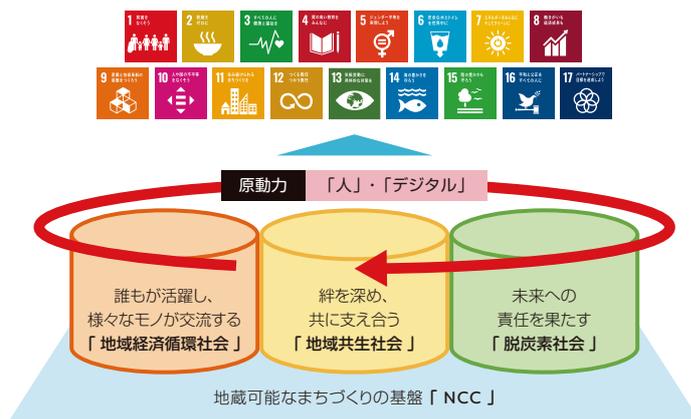
出典：国土交通省

# SDGs達成にも貢献するための 「スーパースマートシティ」の実現

## HELLO, NEW CITY.

～ 新しいまちの暮らしスーパースマートシティうつのみや 始動 ～

- 宇都宮市ではSDGs達成に貢献できる取組として、「スーパースマートシティ」の実現を目指し、「第2期SDGs未来都市計画」を実行しています。
- スーパースマートシティとは、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC」を土台に、「脱炭素型社会」「地域経済循環社会」「地域共生社会」の3つの社会が発展することによって、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望が叶うまちです。



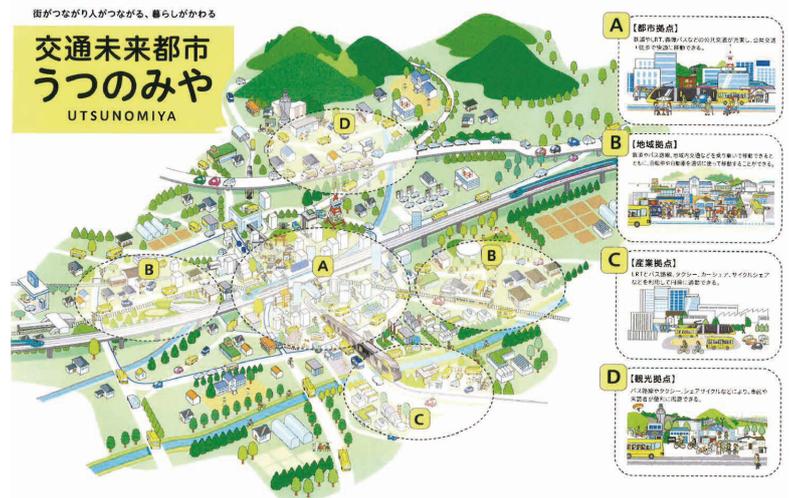
SSC実現のための基盤となるNCC



ロゴマーク

## 交通ネットワークが整備された 利便性の高い都市“宇都宮”

- 宇都宮市では、開業を控えるLRTを東西方向の基本軸に、拠点間を結節する幹線バスや、地域を面的にカバーする地域内交通による、階層性のある公共交通ネットワークの構築に取り組んでいます。この公共交通ネットワークにより、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせるまちを目指しています。



# SDGs 未来都市計画のリーディングプロジェクト

## MOVE NEXT UTSUNOMIYA

～ 乗らないなんて『もったいない』～

- 宇都宮市では、公共交通を「つくる」ステージから、次の「つかう」ステージへの躍進をテーマとし、一人でも多くの方に公共交通を利用してもらい、更なる公共交通の充実につなげる好循環を創出するため、公共交通利用促進運動「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」を展開しています。



- この取組は、「個人」・「事業所」のそれぞれに対し、効果的な意識転換策について、段階を分けて展開します。

「期待感の醸成」：本市の公共交通がどのように変わり、便利になるのか、などを知ってもらうため、広くPRを行うほか、中高生等へtotraを配付



「totra配付」  
市内の中学生、高校生相当世代に  
一人一枚配付(約3万枚)

「行動訴求」：本市の公共交通ネットワークの利便性を高め、実感していただくため、LRT・バス・地域内交通間の乗継割引の実施やシェアサイクル、電動キックボードの社会実験等を実施



「乗継割引の実施」  
LRT・バス・地域内交通間の  
乗継割引の実施  
(LRTは開業後に実施)

「拡散・深化」：より多くの方に参加していただけるよう、駅東地区のまちびらきやLRT開業、プロスポーツ、観光分野のイベントとも連携し、相乗効果を発出



「駅東口まちびらきや  
LRT開業との連携」  
公共交通への愛着を  
醸成する機会の提供

### コラム

## 宇都宮市役所が市内事業所で初めて「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました

宇都宮市役所では、これまで取り組んできたエコ通勤推進デーなどの取組が評価され、令和4年5月に「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。今後も引き続き、公共交通の利用促進や脱炭素社会の実現等に向けて、職員に対するエコ通勤の意識醸成等を図り、取組を進めていきます。

※「エコ通勤優良事業所認証制度」は、国土交通省及び交通エコロジー・モビリティ財団による公的な認証です。

「週に1回のノーマイカーデー」や「従業員への呼びかけ」など、既に取り組んでいる内容でも申請できます。

詳細は右記URLをごらんください。 ▶ <http://www.ecomo.or.jp>



## 事業所の皆さまへ

- 公共交通を利用することは、脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルへの転換や、外出機会・歩行数の増加による健康増進、人の交流や賑わい創出による地域経済の活性化につながることから、SDGsの達成に大きく貢献するとともに、さらなる公共交通の充実にもつながる好循環を生み出すことができます。
- こうしたことから、本市では、「宇都宮市SDGs未来都市計画」のリーディングプロジェクトに“公共交通の利用促進”を位置付け、様々な施策を展開するとともに、国の認証である「エコ通勤優良事業所認証」を取得したところであり、エコ通勤の取組にも率先して取り組んでまいります。
- ぜひ、事業所の皆様にもエコ通勤の普及促進にご理解・ご賛同いただき、全市一丸となって取り組むことで、SDGsの達成に貢献していきましょう。



宇都宮市長  
佐藤 栄一



# HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし  
スーパースマートシティうつのみや 始動

【お問い合わせ】 宇都宮市 総合政策部 交通政策課 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号  
TEL: 028-632-2160 / FAX: 028-632-7072 E-mail: u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp